

広報

かとり

Kat^{ori}

次代を担う 中学生が政治を 真剣に考える



中学生が市議会を模擬体験する「中学生議会」が、10月30日に市議会議場で開催されました。

中学生議会は、自分たちが住む香取市をより良いまちにするために、市議会がどのような役割を果たしているのかを体験し、政治を身近に感じ、主体的に社会問題に関わるという気持ちを養う目的で行われていました。

市内8校の代表として3年生32人が参加し、本番さながらの議会に臨みました。質問に立った16人の中学生議員は、自分たちの目線や生活の中で感じた疑問を取り上げ、市の考えを聞きました。

閉会後のインタビューで議長を務めた佐原第五中学校の土子駿平さんは「やっぱり緊張しました。市長や教育長などがいらっしやる中で、大事な役を務め、とても貴重な経験をしました。また、答弁を聴いて感じたことは、少子化が問題となっている、それに重点的に取り組むのがよいと思いました」と話しました。

また、副議長を務めた栗原中学校の高木葵さんは「副議長という役に任ざられて緊張しましたが、いざやってみて、たくさんの質問とそれに対する答弁を聴いて、議会の大切さがよく分かりました。今日のことを学校の人たちに伝えたい」と話し、無事に終えて中学生らしい笑顔をを見せていました。

平成25年 No.184
11月15日号

